

項目	確認事項	届出内容
<b>基本情報</b>	大学等名1(代表大学等)	静岡大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シズオカダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F122110106224
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	静岡県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	インターンシップの理論と実践
	学部・研究科等名	学際科目（共通教育科目）
	担当教職員名・役職	宇賀田栄次：教授
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	10
	受入企業等数	16
	受入企業等名	(株)大井産業機械、木内建設(株)、東京コンピュータサービス(株)、(株)ダイワ、NPO法人静岡情報産業協会他11社
	インターンシップの分類	6.低学年（大学1年次～2年次程度）からのインターンシップ
		9.中小企業でのインターンシップ
10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ		
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
<b>要素①</b>	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
		2.企業等における課題の解決（例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等）
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
1-3.上記回答内容に関する詳細	企業等における日常業務の職務体験や提示された課題解決に取り組む体験	
<b>要素②</b>	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している
		5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年
		大学 学部3年
2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位	
2-5.上記回答内容に関する詳細	主に学部2年生を対象としているが、3年生以上でも履修できる。教養教育（共通教育）科目・選択必修科目として、2単位が付与される。	
<b>要素③</b>	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている

要素③		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	対面講義・グループワーク（5コマ）：インターンシップの現状と課題、自分にとっての働きがいを知る、自分の特性が強みになる組織、目標立て、適性検査やシートに基づいた自己理解。動画視聴（3コマ）：SPI講座、インターンシップガイダンス、マナーと質問力。オンライン研修（1コマ）：自ら立てた目標に対して、複数の社会人アドバイザーとの意見交換を通じてブラッシュアップする。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	日報やレポートへのまとめのほか、オンライン研修（1コマ）において、評価の意義、成果や気づきを論理立てて伝える方法を理解するとともに、複数の社会人アドバイザーとの意見交換を通じて実習の検証を行い、成果や気づきをまとめる。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ中に、受入先や学生の必要に応じて面談等を行っている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	オンライン事前・事後研修会でのアンケート、および事後研修後のレポートにより実施前との変化を定性的に把握している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	事前（9日）＋体験（2日）＋事後（1日）
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	就業体験（2日：10時間以上）、対面講義・グループワーク（5日：10時間）、動画視聴（3日：6時間）、オンライン研修（1日：2時間）、オンライン事後研修（1日：2時間）

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	オンライン事前・事後研修会において、企業から社会人アドバイザーとして協力を得て、学生の指導にあたってもらっている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	
問い合わせ先	大学等名	静岡大学
	担当部署名	学生支援センター
	担当者役職名	教授
	担当者氏名	宇賀田栄次
	電話番号	054-238-4985
	メールアドレス	<a href="mailto:ugata.eiji@shizuoka.ac.jp">ugata.eiji@shizuoka.ac.jp</a>